

全体会午後の部Ⅱ

司会者 午後の部の司会を担当して頂きます。藍住中学校1年のb k。藍住中学校2年のoです。よろしくおねがいします。まずは、後半1つ目の意見発表です。板野中学校3年鎌田菜々子さんですが、体調が悪くなったので、目川ひよりさんが、代読します。

私と人権活動

板野中学校 鎌田菜々子

「人権活動やしよったら、ほんなグループから抜け出せんようになるんでよ。ほんな活動やめてしまいな。」

これはある日突然、祖母に言われた言葉です。私はとても悔しくなりました。悔しくなったのには、二つ理由があります。



1つ目の理由は、こんなにも身近なところに偏見の目があることがわかったからです。私は、自分の家や祖母の家に帰るとよく人権活動の話をしてもらいます。それをちゃんと聞いてくれるから、私の身内に差別や偏見はないのだと思い込んでいたのです。でも、ある日、祖母に人権の話をしていたら、冒頭に書いた言葉を言われました。その言葉を聞いたとき、私は何も言い返すことができませんでした。

まさか、祖母の口からそんな言葉が出るなんて思ってもみませんでしたから、ショックでした。その日から、祖母の家に行くのに少し抵抗があります。また、あんなことを言われるのが嫌で、何より、祖母からそんな偏見の言葉を聞くのが辛いからです。

二つ目の理由は、私の人権活動に対する気持ちを否定されたような気がしたからです。祖母は私のために、私のことを思って言ってくれているのかもしれませんが、でも、私はそんな祖母の言葉を素直に受け止めることができませんでした。なぜなら、板野中学校の人権活動「ふれあい」は私にとって大切な学びの場であり、自分らしくいられる心の居場所だからです。

人権活動のことをよく知らないまま、自分の中の思い込みで否定的な考えを持った人たちがいます。でも、私は人権活動こそ、人間としての生き方を学べると思っています。勉強よりも何よりも、人権について考えることが私を成長させてくれると思って活動に参加しています。

「人権活動に参加しているのは差別されている人たちだ。」

「今の時代に、差別なんかない。」
「差別を受けている人たちの問題だから、自分たちには関係ない。」

このような考え方の人がいます。また、「差別とかいじめって、差別やいじめをされる方に原因がある。される方が悪い。」という話を耳にすることがよくあります。皆さんはこの言葉を聞いて、どう思いますか。私は、この言葉は絶対に間違っていると断言できます。たとえ、差別やいじめを受けている側に何か問題があったとしても、差別やいじめをしていい理由にはなりません。

「あいつがうざいから」

「あいつがきもいから」

こんな言葉はただの自分勝手な言い分にすぎません。自己中心的な考え方で、相手を傷つけているのです。

私は人権活動を通して、自分の中の差別意識に気づくことができました。それは「ふれあい」や中学生集会で出会った仲間たちと人権について考え語り合う中で、自分と向き合い自分の正直な気持ちを見つめることができるようになったからだと思います。そして、まわりで起こる出来事で、何が差別なのか、何がいじめなのか気づけるようになってきました。

私は一番身近で大切な祖母にもこのことをわかってほしいと思います。まだ、祖母には私の気持ちは伝わっていないと思うのですが、人権の大切さや活動することの意味を少しずつでも伝えていきたいです。また、私が人権活動に参加している姿を見てもらいたいです。まず、私の大好きな祖母に正しく理解してもらい、次に身近な人にもわかってもらえるように活動していきたいと思います。そして、これからも人権活動を通して、仲間とともに人権や身近にある差別について考えていきたいです。

ご清聴ありがとうございました。

司会者 ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、後半2本目の意見発表です。板野中学校3年 青山 楓さん「母がいない人生とは」です。よろしくお願いします。

母がいない人生とは

板野中学校 青山 楓

みなさんにとって「お母さん」とはどんな存在ですか。きっと多くの方が自分を産んでくれた親だから「大切な人」と

答えるでしょう。「大切な人」からたくさん愛情というものをもらったと思います。でも、私には、母の愛情というものがよくわかりません。何故なら、私は生まれてすぐに母と離ればなれになってしまったために、今まで一度も会ったことがありません。今どこで何をしているのかわかりません。物心がついたときから今までずっと、私は、母に会いたいという気持ちのままです。



みなさんに聞きたいのですが、母親からいろいろと言われ、母親の存在がうっとうしくて、自分のことを不幸者だと思っていないですか。もし思っているならそれは、大きな間違いだと思います。私からすると、母と一緒に生活していることは、とても幸せだと思うのです。

今まで母に関して、一度だけウソをついたことがあります。それは、小学校のときに後輩から、「お母さん、いないの。」って聞かれました。その時、私は、「今、お母さん、単身赴任している。」と、本当はいないのにウソをついてしまいました。なぜあのときに、素直に「いない」と言えなかったのか。当時はたぶん、母がいないという事を秘密にしたかったのでしょうか。でも、今は違います。素直に本当の事が言えます。たとえ離れていても私と母は、見えない「愛」というものでつながっていると思うからです。

私には大きな夢があります。私が社会人になったら母を探して、母がいなくなつてからの私のことを話したいし、再会するまでの母のことを聞きたいです。そして、二人の間の「愛」というつながりを確認したいです。

最後にみなさんとこの会を通して出会うことができ、本当にうれしいです。そして、未来の中学生のためにこれからずっと、中学生集会が続いていくことを信じています。ご清聴ありがとうございました。

司会者 ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。続いて、後半3本目の意見発表です。藍住中学校1年レイエス愛美さん「名前は宝物」です。よろしくをお願いします。

名前は宝物

藍住中学校1年 レイエス 愛美

私の名前には、レイエスというカタカナの苗字が入っています。その理由は、父がフィリピン人だからです。私たちの家族は、私が小学校4年生の時に、兵庫県から藍住町へ引っ越してきました。そのときは自分の苗字が、みんなと違って漢字ではないことがとても不安でした。

小学校へ通い始めてまもなく、私の悪い予感は的中してしまいました。まずは、同級生から、変な「あだ名」をつけられました。漢字ではない私の苗字が珍しくて、おもしろがっていたのですが、笑われるたびに、私の心は痛みました。また、下級生や上級生といった、他学年の子たちから、からかわれることもありました。私が、弟と母の3人で学校から帰っている途中に、全然知らない子たちに、大声で、私の苗字を叫ばれたこともありました。顔も名前も知らない子

たちからも、苗字をおもしろがって呼ばれたことは、悲しい記憶として、今でも心に残っています。

苗字は、生まれたとき、両親から受け継いでいくもので、その苗字で一生を過ごすのだから、バカにされたことは、一生心の傷として残ってしまいます。このときは、私へのからかいがいつまで続くのだろうか。心についた傷は、これからもさらに深くなっていくのだろうか、とても不安でした。



しかし、私が苗字のことで嫌な思いをしたのは、2、3週間くらいだけでした。なぜなら、転校してきたばかりの私に、優しく声をかけてくれた友達がいたからです。その友達は、私の苗字のことを笑ったり、からかったりせず、一人でいる私に話しかけてきてくれて、ときには、からかっている子たちから、かばってくれたりもしました。新しい土地で、一人寂しく落ち込んでいた私にとっては、すごく嬉しいことで、今でも心から感謝しています。私は、その友達の支えがなければ、笑顔でいられなかったと思います。

ときが経って、小学校を卒業する時期を迎えました。まわりのみんなは、中学校での勉強のことや、部活動のことなどを不安に思っていたと思います。でも、私が、一番不安に感じていたのは、やはり苗字のことでした。中学校は、複数の

小学校から生徒が集まるので、人数が増えるし、同級生の中に、私のことを分かってくれている子たちがいたとしても、先輩たちから、苗字のことで何か言われたらどうしようかと思っていました。自分では、あまり深く考え込まないようにしようと思っていたけれど、小学校の頃に経験した嫌な出来事を思い出すと、とても不安になりました。しかし、今、中学生になり、私は、充実した日々を送っています。小学校の時に心配していたような悪い予感、今回外れました。

そんな私は、藍住中学校で、一人ひとりの本当の思いを語り合う人権学習と出会いました。この人権学習のおかげで、小学校の体験が、私の生きるバネとなって、人間関係や、自分の生き方について考えることができるようになっていきます。今回、私が、なぜ、自分の苗字のことを作文に書いたのかというと、藍住中学校で最初に学んだ「アッと笑い」と「ドッと笑い」の人権学習が、強く私の心を揺さぶったからです。「アッと笑い」は共感と感動の笑いです。「ドッと笑い」は仲間を傷つけていく蔑みの笑いです。私が自分の苗字で、悲しい思いをしたように、友達の中に起こる「ドッと笑い」から、私たちは大きな悲しみを味わうことがあります。このことは、みんなですっきりと考え、学んでいかないと、同じことが繰り返され、クラスの雰囲気がとても嫌なものとなっていきます。

私が、「アッと笑い」と「ドッと笑い」の学習で、人間関係の大切さに気づいたように、私の作文を通して、皆さんに、人間の無知から起こる、深い悲しみについて考えてほしいと、強く思います。

この作文を発表するまで、私の中に、まだ不安がありました。それは、本当の気持ちを発表することによって、周りの

友達の態度が変わるのではないかと、思ったからです。しかし、その不安は、学年全員の前で発表したとき、私の中から見事に消えていきました。それは、私の気持ちを後押しするように、学年の仲間が、それまで口にすることがなかった、本当の気持ちを精一杯発表していたからです。

私たち藍住中学校の1年生は、語り合いの人権学習を通して、苦しみや悲しみを乗り越え、深い絆を築いています。そのことにより、みんながつながり、安心して、学校生活を送ることができるようになっていっていると思います。私は、藍住中学校で出会った、思いや願いを語り合う人権学習でつかんだものを大切にしていきます。そして、フィリピン人である父から受け継いだレイエスという名前を、私の大切な宝物として、自分にできることをひたむきに頑張っていきたいと思います。



司会者 ありがとうございます。どうぞ元の席に戻ってください。それではこれから意見発表を通しての討議に移りたいと思います。発表について感想や意見交換、参加者の思いを語って頂けたらと思います。また、前半で発表しきれない人や付け加えるような内容のある人は、これが最後のチャンスとなりますの

で、ぜひ発表してください。なお、記録の関係上、発表者は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。それでは、よろしくお願いします。

名和中学校 3年 a q 鎌田さんの作文で、「勉強よりも何よりも人権について考えることは、私を成長させてくれると思います、活動に参加しています。」のところが、こんなに強い思いをもって、人権学習に取り組める鎌田さんが、すごいと思いました。



藍住中学校 1年 a a ぼくは、レイエスさんの気持ちがよくわかります。ぼくも小学校の時に名前で遊ばれたりしていたし、ぼくも遊んでいたから、そのときは後悔したり、悲しんだりしていたから、名前は大切だなとよくわかりました。

名和中学校 2年 a r 僕は、鎌田さんの意見を聞いて思ったことは、僕も学習会をやっていたので何が差別なのか何がいじめなのか気づけるようになってきたので今後できるようにしていきたいです。

藍住中学校 3年 i 菜々子さんが言っていた「おばあちゃんが人権に対するこ

とについて認めてくれない」と言っていたのですが、菜々子さんは、おばあちゃんが認めてくれないのに自分で人権をかえていこうとすることが菜々子さんはすごいなあと思いました。私もそういうことができるようになりたいなあと思いました。

藍住中学校 1年 a s 僕も小学生の頃は名前で遊ばれていて親からももらった名前なのでとても傷つきます。だから、人の名前で遊ばないように気をつけたいと思います。

名和中学校 1年 a t 鎌田さんの「差別を受けている人たちの問題だから、自分たちには関係ない」のところで、差別を受けていない人たちが今関係なくても関わることがあるかもしれないから差別を受けている人たちだけの問題だけじゃないと思いました。

板野中学校 1年 a p 私も名前で遊ばれていて、ゲームのマリオに似ていたので下級生からも上の先輩からもよく「マリオマリオ」って言われてそんなときにすごい悲しくて、親からすごい考えてつけてもらった名前やし、自分はすごい気に入っているのに、すごい悲しくなって、レイエスさんの話もすごい共感しました。以上です。

藍住中学校 3年 j 鎌田さんの作文の中に「差別を受けている人たちの問題だから自分たちには関係がない」という言葉があったのですが、私はこれを差別を受ける可能性は自分たちにもあるんだから自分たちでどうにかしていこうという考えをもっていきたいと思いました。

藍住中学校 3年 i 楓さんが言ったお母さんがいないと言っていたことに対して、私はお母さんがいるので楓さんはお母さんがいなくて寂しいのに、私は母親に対していつも厳しい言葉で反抗ばかりして。うっとうしいときは「うざいけんどっかいけ」だとかそういうことを言って、そんで後には、ひどいときは殴り合いとかして、それで後で後悔して。後でかあさんが車で送り迎えせっかくしてくれているのに、車の中できついこと言って、一番ひどいときで母さんに「おまえなんか母親でないわ」とか言ってしまったりして、横で泣かせてしまって、自分でも後から後悔して。楓さんのことを今聞いていたら、何で自分はそのときそういうことをしてしまったんだろう、母さんとかがいなくて寂しいのに、そんなこと言ってほんとにお母さんが死んでしまったらどうするんだろうと思ったりしたので、もう少しお母さんの事を考えて接していこうかなあと思いました。

中山中学校 2年 aq 鎌田さんの作文にあった、「まず身近な人から人権について教えていきたい」ということなんですけど、私もまず家族とか友達に人権学習について教えてから、他の大きな場面での発表とかどンドンしていきなあと思いました。

中山中学校 3年 au 青山さんの作文で、私にはお母さんがいるからそんなことは考えたことがなかったけど、お母さんがいるのは幸せなんだなあと思いました。

藍住中学校 1年 e 鎌田さんが祖母から言われた言葉で僕は家に帰ってもあまり人権の話とかはしません。でも本当は

家族が人権のことをどんな風に思っているのか聞きたいと思ったので今日聞いてみたいと思いました。

中山中学校 1年 av 私も保育所の時に名前でも遊ばれることがあって、1つ上のクラスの男の子に「食べるもの」と言われることがあってすごく悲しんだんですけど、名前は宝物っていう話を聞いて、自分だけの名前なのでこれからも大切にしていきたいと思いました。



藍住中学校 3年 i レイエスさんが言っていた名前であだ名をつけられ笑われるということですが、私も小学校2年生の時に自分ではいいかと思っていたけど、でも今そういう作文を聞いて、傷つく人もいますので、もうちょっと自分でも考えていっていたほうが良かったなと思いました。

名和中学校 3年 y 鎌田さんの作文で、「差別やいじめはされる方に原因がある。される方が悪い」というところは、差別やいじめはするほうに原因があるというふうに思わないのかと思いました。

藍住中学校 1年 aa 鎌田さんの作文で「あいつがうざいから」とか「あいつ

がきもいから」とか、僕はたまに言っているかもしれないけど、自己中心的な考えだけで自分で言っていて、相手を傷つけているから、こういう言葉は使わないようにしたいです。

応神中学校 3年 n 菜々子の作文で、私の祖父もたまに部落のこととか言ったりするんで、身近にも偏見の目があるんだなと思って、しずつでも身近な偏見をなくしていけたらと思います。

板野中学校 3年 鎌田菜々子 ちょっと体調悪くて発表できんかったんやけど、なんかみんながいっぱい言ってくれた。うれしい。こうやって発表できる場所がある、自分の意見が言えるってゆうんがすごい幸せなことやし、ましてや、県外の子とかとこういうつながりがあるってなんか、人権活動って、めっちゃでかいことやと思うんよ。だから、2日間しかなくて、もう会えんかもしれないけど、会えんかもしれないけど、こうやってみんなでつながれたこと忘れんと、また連絡先とか交換できるようになったらして、いろんなどこからつながれたらいいなって思うし、あんまりうまいこと言えんけど菜々子は、今もこうやってこいつが背中たたいたりしてくれるんが、なんかそういうあたりまえにしよるけど、そういう1つ1つがうれしいんよ。ほなけんみんな、そういう仲間を大事にしてください。それだけ。

藍住中学校 3年 j ちょっと話かわってしまいうんやけど、楓さんの話を聞いて、楓さんはお母さんがおらのやけど、私はお父さんがいなくて、離婚して母親を泣かせた前の父親が大嫌いです。もうほんまに大嫌い。楓さんの作文を聞いて、

やっぱりちゃんとおってくれたときは、お父さんも愛情を持って育ててくれたんだなあとと思って、ちゃんとこれからは感謝せなあかんなと思いました。



板野中学校 3年 d たびたびすいません。私もお父さんおらのやけど、私のお父さんすごい暴力ひどくて、お兄ちゃんとお姉ちゃんとお母さんすごい傷つけられてきたんよ。末っ子だった私は、唯一暴力とか傷が残るようなあれはされんかったんやけど、罪悪感感じるし。私もjと一緒に言うたらあかんのやけど、世界一憎いんよ、お父さんが。今癌なんやけど、はじめてこんなに人を言うたらあかんかもしれないけど、おらんようになればいいって思ったんよ。ほんまにずっとお父さんのしてきたことが許せないし、実際自分は傷つけられてないから、言えんのやけど、お姉ちゃんとか頭さかれとんよ、2回くらい。そういうんを見てきよったから、ほんまに交通事故とか、病気でなってもいいから、はやくおらんようになってほしくて、今ここで人権語んよんのに、そういうん言うたらあかんかもしれないけど、でもそこにはすごい思いがあって、こうやって言うてるんやけど、うまくまとまらなくてあれやけど、とにかく、jも憎いと思うけん、

その面ではいろいろ話できるかと思ったからいいました。おわり。

藍住中学校 3年 i jとdが言ってくれたように、私もお父さんのことが憎いです。最初はお父さんのことが大好きで母さんが出て行ったときも父さんのほうについとったけど、やっぱり母さんの悪口とか、腹痛めて産んでくれた母親の悪口いわれて、私もdみたいに「こんなおやじ死ねばいいのに」とか思って、でもdとかの話きっきよったら、私が思っていた以上にdは苦しんどったし、jも苦しんどったから、なんか自分が思っとうことが馬鹿みたいだったから、そういうこと思わんようにしようと思ったし、もっと人の命大事にしていかなあかんと思いました。それとjとdは、見よったら、悩みなさそうやったから、いつでも言ってきてな。

板野中学校 3年 a h 私の親は、離婚の理由までは、私は聞けなくて聞いてはないんですけど、でも、私は、母が私を手放したことに對しては、全く憎んでもないですよ。正直。でも、すごく母に会えないのは寂しいし、ほんな憎いとか全く思っていないのに、ただ会えないのはつらいし、母は私の名前も忘れてると思うし、私は母の名前も知らないし、顔も知らない、写真までないし、会うことも許されんし、なんか分からんけど、会うこと許されんけん、ほんまは会いたいんやけど、でも会えない事情もあると思うし、家族はみんな私の母親のこと忘れてると思うし、ほれに、私は、母のことしか作文には書いてないけど、ほんまはまだ、会いたい人もいます。私は、なんか、DNA的な感じでいうんだったら、私は4人兄弟の一番末っ子なんです。そ

の兄ちゃんたちも会ったこともないし、母親にも会ったことないし、私は。ごめんなさい。なんか文がまとまってなくて。はっきり〇〇〇と言ってしまったけど、生きた理由は、ただ1つ、二つあって、1つはこうやって支えてくれる仲間もおるし、友達もおるし、先生もおるし、いろんな人が私を支えてもらっているから、〇〇〇できていて、もう1つは、やっぱり母さんに会いたいということで生きているんです。以上です。



応神中学校 2年 k dさんやiさんやjさんたちの話を聞いていると、自分を産んだり育ててくれている人とか両親を恨んだりとかほういう話とかを聞いていると、私は両親とずっと暮らしているんですけど、両親と一緒にこうやって生活して、それでたわいもない会話とかしたりして、そういうのがとても幸せなことだっというのを今日この場に来てとても実感しました。

藍住中学校 3年 i dとか、kさんとかjとa hさんとかの話を聞いていたら、家族は大事でやっぱり、かけがえない、みたいな存在やけん、弟とか姉ちゃんとかは会えんし、母さんとかしか一緒におれんけど、もうちょつと家族でお

れる時間を。両親とか兄弟とかと一緒に住める人が、正直うらやましいし、両親と離ればなれで暮らす人も、お父さんお母さん、一人だけと住む人もおるから、それだったら、両親がおる人とか、家族が離ればなれになってない人は、その家族でおる時間をもっと大切にしていってほしいし、おらん人は、悲しいかもしれんけど、お父さんお母さんを、大事にしていってほしいなど。もちろん一番会えんで寂しいんは、いつも一緒におる兄弟とかやから、兄弟とけんかするときもあるし、いやだろうと思うけど、一番相談相手になってくれるんは、父さんでも母さんでもないし、一番話しやすいんは兄弟やと思うから、もっと兄弟のこと大切にしていってあげてください。



板野中学校 1年 aw i さんの話を聞いて、私はこう思いました。弟と私は、すぐにけんかして、けんかしてる時間も長いんですよ。だから、もっと、弟を大事にしようと思いました。

藍住中学校 3年 i ちょっとつけたして、家族と話す時間をもっと増やしてください。

藍住中学校 2年 b さっきの先輩方の話を聞いていて、お父さんのこととかい

ろいろ言ってたけど、ほんとにずっと胸が苦しくなりました。言ったことも何回もあるから、知っとる人もいっぱいおると思うけど、自分は、お父さんもお母さんも一緒に暮らしているけど、なんか、1回お父さんが、学校の先生になるために、広島の学校の先生の勉強するところにしばらく行って、家にあんまり帰ってこんことがあって、その間に、お母さんと自分で韓国のアーティストにはまってしまっ、今度お父さんが帰ってきて一緒に住むようになったときに、お父さんは韓国のことが嫌いで、対立関係にちよっとなつて。今でもその関係は続いて、自分が音楽ききよつても、写真見よつても、動画とか、DVDとか見よつても、ちよっとお父さんが「消せ」とか「やめろ」とか「うるさい」とか言ってくるんやけど、もうそれに自分は反抗して、「自分が好きなん見ようけんいいでえ」つつい押しつけるようなことをしてしまっただけど、実際お父さんが韓国の事を差別しよるけど、自分の好きな物を押しつけていしまいようけん、なんか、どっちもが一步も譲らん状態で何も解決がならんのかなあと思ったから。お父さんも大事にするために、そういう押しつけるだけじゃなくて、話をしあいながら、何で韓国の事が嫌いとか理由とか、全部聞いて、ちよつとずつでも受け入れながら、もっといい関係を築いていかなあかんああと思いました。

屋島中学校 3年 ax 板野中学校の青山さんの作文の発表を聞いて、僕もお父さんやお母さんや家族が普通にいてくれていつも僕を愛してくれているけど、皆さんの発表を聞いて、それが普通じゃないということが、あたりまえではないということが、分かったので、帰ってから

はちゃんと親孝行していききたいなあと思いました。

大麻中学校 2年 q ぼくも父親がいません。今まで何不自由なく母が育ててくれました。だから母に感謝しています。

板野中学校 3年 an 楓の作文を聞いて、楓の場合はお母さんがいないだったんですけど、私はお父さんがいません。それを楓の作文を聞きながら、逆に私はお父さんがいないので、お父さんの事を考えながら聞いていたらすごい共感できる場所があって、私ももっとお父さんに会いたいなと思いました。



中山中学校 2年 ay さっき韓国の批判するお父さんの意見があって、私もテレビを見ていたら、お父さんが「全然おもしろくないし、もうテレビを消してしまえ」みたいに言うんですけど、私もお父さんが見るテレビを全然おもしろくないと思っています。私もお父さんのことをもっと理解して、いい関係をもっとつくっていききたいと思いました。

応神中学校 3年 az 私は先月誕生日だったんですよ。それでお父さんとお母さんに私が生まれた時刻に「産んでくれ

てありがとう」「育ててくれてありがとう」とメール送って、お父さんからは「いつも弟と妹の世話ありがとう」と返ってきて、お母さんは「生まれてきてくれてありがとう」と、「ママはママのママに産んでくれてありがとうと言う事ができなかった」という返信が返ってきました。私のお母さんのお母さんは、中学校2年の時にお風呂場でこけて亡くなったそうなんです。青山さんの作文を聞いて、お母さんがいるのは幸せなんやと、そのメールのことも思いながらなんかすごい泣けてきて、今すごい幸せやなって思いました。

応神中学校 吉成 ちょっと問題提起になるようなことを言ってしまうかも分かんないけど、両親そろったら幸せなん？そんなふうに聞こえる節もあってな。お母さんだけだったら幸せでないの？お父さんだけだったら幸せでないの？じゃあ、両親いなかったら幸せでないの？どういう状況であっても幸せになろうよって思わん？と、思うのよ。人と比べてとか、あの家と比べてとか、あの子の家族と比べてとかじゃなくて、いろんな状況はあると思うよ、そりゃ。いろんな状況はあると思うのよ、大人の都合かもしれないけど、だけど、いろんな状況はあると思うのよ。それでも、幸せになろうよって思うのよ。両親がそろっていたら幸せかといったら、そう？って思ったりもするのよ。幸せって何なん？障がいがある兄弟がいるっていうことはどうなの？幸せじゃないの？これは。どうなん？部落に生まれたっていうことはどうなの？不幸せなの？これは。幸せに思えないの？そこをはっきりさせて今日終わってみん？幸せって何なん？今の流れっていうのかな、すべてでないかもわ

からんし、私の思い込みっていうのか、思い違いなのかもわからんけど、話を聞いていたら、家族が普通に、普通っていう言葉はぼくはあんまり好きじゃないんだけど、普通にそろっていることが幸せであるかのような流れになつとるような気がするのよ。けど、本当にそうなのって思うのよ。支えてくれて友達ありがとっていう気持ちとかすごくかるんやけど、みんな幸せになろうよって思うのよ。どう？そこ。でないとな後味悪いって。あと30分、20分くらいしかないから。20分ぐらいで解散になるのよ。けど、いい形で終わりたいんだけど、今私が言ったことはどうなのっていうことを聞きたい。どうなん？幸せって何なの？



藍住中学校 3年 j さっき吉成先生が言ってくださったことなんですけど、私が思う幸せは、自分が幸せだと思ったときに幸せなんだと思います。あと、家族がそろってなくて幸せでないのじゃなくて、家族がそろっている人はそろっていることで幸せと思っているかもしれないけど、どうしても、母親とか父親がおらん人は、そろっている人のことをいいなあとか、幸せそうだなって見てしまって、家族が全員そろっている人のことを幸せそうだなって思うんだと思います。

板野中学校 3年 an 私はお父さんがいないけど、何の不自由もないし、すごい愛を注がれていると思っているので、別に不幸とか自分で思っていないし、自分は満足しています。私が思う幸せとは、jちゃんが言ってたように、今自分が、例えばうれしいことがいっぱいあったり、すごいうれしいことがあったりして、幸せって自分が思ったときに幸せなんだと思います。

板野中学校 3年 ah 私が幸せって思うのは、この世の中に生まれてきたことだと思います。今生きているのは、お母さんが私を流産せずに産んでくれたからこうやってみんなの前で発表もできると思います。私は昔、両親がそろっていないことでいやな気持ちになっていました。それは小学校の授業参観の時に、みんなお母さん来てもらっているのに、私だけ父親だったんですよ。それがすごくどうしてもいやで、(授業参観に)呼びたくなかったこともあるし、実際に何回も呼ばなかったこともあるんですよ。ずっと黙っていたこともあるんですよ。小6の時までは。でも、中学校になって来てもらうときはちゃんと来てもらっています。母がいないっていうことは、私は女の子なんで、女の子に関してのことをたくさん教えてもらってません。両親がおった方が楽しかった気がします。私にもし子どもが生まれたら、自分が愛した人と一生ずっと一緒にいたいし、子どもに私みたいな思いさせたくないです。

藍住中学校 1年 ba 私が思う幸せは、相手のことを互いに思い合えたり、一緒に泣けたり笑い合えたり、そうできることが幸せなんだと思います。

応神中学校 2年 k 吉成先生が問いかけたことで、jさんの言ったことにもちょっと重なってくるんですけど、幸せは誰かが決めていくものじゃなくて、自分自身で決めていくものだと思うんですよ。だから、周りから見てその人を不幸せだと思ったとしても、本人が幸せだと思っていたら、それは幸せなんだと思うんですよ。だから、ここにおるみんなやって、自分の考え方思い方次第で、幸せと思えることもあれば、不幸せだと思えることもあるんだと思うんですよ。だから幸せは決まりがあるんじゃないかって、自分の考え方次第だと私は思います。



板野中学校 3年 d 幸せって何って聞かれて、これっていう答えはないんやけど、とにかく私は何でも幸せにつなげちゃうポジティブ野郎です。だから悩みがあったとしても、悩みは生きとる人間の特権やって、それ最高やん、幸せやんってみたいな感じで、何でもかんでも幸せにつなげてしまいます。お父さんがいないからって私は、お父さんお母さんがそろっている家族はいいなあって思ったりするけど。私には血はつながってなくても、お父さんとかお姉ちゃんとか、お母さんとかお祖母さんとか、そうやって思える大人の人たちがいっぱいおって、

今私の横で、ぐーすか寝ているようなこの人もお母さんだと思って。お母さんなんよ、過保護でおせっかい野郎やけど。大島青松園って聞いたことあるかわからんのやけど、そこで交流したきた人で磯野さんという人がおって、いつもその人のところでご飯食べたりとか寝たりとかしていています。ある日、磯野さんに言われたんよ。「僕のことはおじいちゃんとしていつでも来てくれていいし、うれしいこととか悲しいことがあったらこのじじいにぶつけなよ。」とか言われて。うわあ、何でこんなに優しい人が私の周りにいっぱいおるんやろうって。お父さんやお母さんがいない子がおるかもしれないけど、でも、必ずそういう人だけではないよ。お父さんお母さんがいる人もそうやし、誰でも大人の人とか、ちょっと年上のお姉ちゃんとかお兄ちゃんとかなんか周りの人に、すごい愛をもらっていると思う。感じなくても先生とか、まじうざいと思うこともあるけど、すごい愛情を注いでくれていると思う。私も実際、ちょっとやんちゃしていたころは気づかなかったけど、周りは優しさにあふれていて、愛にあふれていて、そういうことで私は十分幸せやなって。だから、これから私が大きくなったらその幸せを与えてくれた大人の人たちやこれから生まれてくる子どもたちに伝えていきたいなって思いました。

藍住中学校 2年 b さつき、吉成先生が言ったけど、幸せは何かと言われて、自分もすぐにこれといった答えは出てこなかった。先生の話の中に障がいのある子が家族におって、幸せかどうかというのがあったと思うんやけど、自分は弟が生まれてきたことがすごくうれしいし、弟のことが天使みたいに見えるんです

よ。だから一緒に遊ぶんも何をしてても楽しいし、一緒にどこかへ行くのも、手をつなぐのも、抱きついたり一緒に寝たりできるんも弟だけやし。その弟のもう1つ上の子は何も障がいがないけど、弟がおらんという生活が今では何も考えれんことやし、それは自分にとって幸せなことなんちゃうんかなって。幸せとを感じる規則はないけど、今、自分の周りにある環境は、いっぱい幸せにあふれとんなあとさっき考えていて思いました。

藍住中学校 3年 i dさんが言っていたように、私も正直言ってどういう時が幸せなんかなって。自分が幸せ感じる時があるけど、はっきり言ってどういう時がめっちゃ幸せなんかなって、そういうんが考えられんで。幸せって思ったときが幸せなんだろうなっていうのがあるから、そこまで深く考えたことなかったんですけど。吉成先生が言っていたように両親がそろっとるけん幸せとかじゃなくて、家族でおれるっていうこと自体が幸せなんかなって今ちょっと思ったりしました。



板野中学校 1年 b b 私はお姉ちゃんがついて、足がちょっと悪いんですけど、たまにけんかして言い合いもするんです

けど、お姉ちゃんと一緒にいて私はとっても幸せです。私にとって幸せというのは、笑顔になれたり相談できることだと思います。

板野中学校 3年 a h 私が幸せと思うときが2つあるんですよ。1つは好きなグループを見るとき、好きなグループの番組を見るときで、もう1つは友達と笑顔でしゃべっているときです。そして3年間変ってない担任と仲良くけんかもしながらしゃべれることも幸せだと思うんですよ。最後やけど、最後に言わせてください。これからどんなことがあっても、中学校の間に仲良くしゃべれる子がんばってつくってほしい。これからどこで出会っても、明るい子もいるし暗い子もいるし、いろんな子がおるけん仲良くなしてほしい。私もまたこのメンバーで会えることを信じて今日で中学生集会を卒業します。今年卒業なんで、参加できるん今年最後なんで、私もまたみんなと再会できることを信じて今日は帰りたいです。今日はありがとうございました。

応神中学校 2年 k 今、a hさんの言ったことで思ったんですけど、家族がいるから幸せ、家族がないから幸せじゃないじゃなくて、今思ったのが、周りに人がいるからこそ幸せだと思えるんだと思いました。

国府中学校 2年 a どんな状況でも、平和に楽しく暮らせていたら幸せじゃないかなと思います。

藍住中学校 1年 b c 私が思う幸せは、誰もが自分の思ったことをはっきりと言えることだと思います。私のクラスは、最近の人権集会で、「自分は、ちょ

っと障がいがある」と言った子がいるんですけど、その子が授業中とかに発言したりすると、「うっさいわ」とか「そんな間違ってる」とか言う子がいるんですよ。それをなくしていったら、その子も自分の意見言いやすくなると思うし、そういうクラスをつくっていきいたいなと思いました。

藍住中学校 1年 b d 親がいるかいないとか関係なしに、本人が幸せと思えたらその人は幸せなんだと思います。

大山中学校 2年 b e 僕も幸せだと思ったときが幸せだと思いました。

藍住中学校 1年 b f 僕の思う幸せとは、体や心に深い、一生残るような傷がつくことなく、笑顔で過ごすことが幸せと思います。

藍住中学校 2年 a o 私が思う幸せは、両親がいるとかじゃなくて、誰か一人でも仲間とか家族とか話し合える人がおって、自分の悩みなんかをちゃんと聞いてくれる人がおることだと思います。



藍住中学校 2年 o 私は兄弟がいませんが幸せです。その理由は、相談相手が

家族にいるからです。

応神中学校 b g 自分にとっての幸せは、生きがいを見つけることだと思います。

藍住中学校 1年 b h 僕が思う幸せは、けんかをしないということです。

板野中学校 3年 a n 私の幸せとは、ご飯が食べられることです。

藍住中学校 1年 b i 私の思う幸せは、自分だけじゃなくて周りの人が笑顔でいられる事です。

応神中学校 2年 k 私は今日、この場にいられた事が幸せだと思いました。

司会者 まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで全体会午後の部を終了したいと思います。みなさん、ご協力ありがとうございました。有意義な話し合いができたと思います。今日の話し合いをきっかけに人権問題をさらに深く考え、各学校に持ち帰ってください。

それでは、全体会午後の部を閉じることになります。ありがとうございました。それではこのあと引き続いて、閉会行事にうつらせていただきたいと思いますので、準備ができるまでの間、しばらくお待ちください。